

第 2 回産学官連携推進会議の結果報告について

平成 15 年 6 月 19 日

開催趣旨

産学官連携の一層の推進を図るため、実務上の課題を抽出し、具体的な解決策をとりまとめて政策に反映させるとともに、企業や大学の活動に具体的に生かす。

日時、場所

平成 15 年 6 月 7 日 (土)・8 日 (日) 国立京都国際会館 (京都市)

全国から企業・大学・行政等のトップ及び第一線の研究者、実務者、専門家約 4000 人が参加

開催概要

- ・小泉総理からのビデオメッセージ
- ・主催者挨拶：細田科学技術政策担当大臣、遠山文部科学大臣、奥田日本経済団体連合会会長、吉川日本学術会議会長
- ・基調講演：尾身前科学技術政策担当大臣、小宮山東大副学長
- ・特別講演：奥田トヨタ自動車会長、ハートウェル・ワシントン大教授、麻生福岡県知事、ダッシャー・スタンフォード大教授、生駒一橋大院教授、毛利日本未来科学館長

分科会 (主な提言)

ベンチャー支援

必要なときに必要な資金が得られる仕組み、公的研究機関・大学等における調達の拡大、経営のプロ人材等専門家による支援、起業家人材の輩出などの施策が重要

企業の戦略的技術経営

大学と企業の両者の競争力強化にむけた包括的なアライアンスの推進や新技術の事業化を判断できるトップの目利き能力が重要

地域クラスターと中小企業

中小企業の産学連携への積極的参加や、人材育成、人的ネットワーク形成、クラスターの成長段階に応じた技術開発、金融、販路支援等の拡充、クラスター間の協調と競争や広域化が重要

大学と知的財産戦略

知的財産権の原則機関帰属ルールの下、大学知的財産本部及びTLOを中心とした組織管理と戦略的運用が重要。また、具体的モデル提示等による知的財産の取り扱いルールの明確化が必要

産学官連携功労者表彰 (資料 3 - 2 参照)

本年からの新しい試みとして産学官連携を通して優れた功績を挙げた個人又は団体を表彰 (約 670 件の応募 審査委員会により内閣総理大臣賞等 12 件を選定) 受賞者から成功事例と体験談について発表

展示会

大学・研究機関・TLO等による研究成果 試作品の展示・技術紹介等を実施 (132 機関・241 ブース)

会議での問題提起と提言 総合科学技術会議や知的財産戦略本部での議論にフィードバックし、具体的な施策の迅速な実行につなげる